

福岡県公立高校入試徹底分析【国語】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	60点
問題構成	概要について 大問4題で構成されています。[一]説明的文章・[二]文学的文章・[三]古典・[四]作文です。 ※「言語」に関する出題は、昨年同様[一](2)に出題されています。 [一]の(1)は説明的文章で12点配点、(2)は(1)の本文と関連させる問題や文法・語句・書写に関する問題で9点、[二]は文学的文章で12点配点、[三]は古典で12点配点、[四]は作文で、15点配点です。 出典について [一]『何のために「学ぶ」のか〈中学生からの大学講義1〉』小林康夫「学ぶことの根拠」 [二]天沢夏月「ヨンケイ!!」 [三]漢文の書き下し文『貞観政要』とその現代語訳 [四]資料：「18歳意識調査『第30回—読む・書く—』詳細版」（日本財団 2020年10月30日） 各大問の「記述式」問題の出題について [一]で出題された記述式は1問で、本文の内容をまとめた文の空欄に入る言葉を補う問題でした。 [二]で出題された記述式は2問で、うち1問は5字で心情を答えさせるものが出題されました。 [三]で出題された記述式は1問で、15字以内で主題を説明させるものが出題されました。 [四]は「読書量を増やす取り組み」について、複数の資料をもとに意見を述べる作文です。 記述式問題以外の数は増えましたが、記述式問題が減りましたので、全体的に易くなりました。		

	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)	令和2年度(2020)
問題量（A4で）	10ページ分	10ページ分	10ページ分	10ページ分	9ページ分
小問数	28問	25問	27問	23問	23問
論述問題の数	5問	8問	8問	7問	7問
論述問題配点	24点	32点	31点	30点	29点
受験者平均点	39点	31点	36点	39点	38点

【出題の傾向と対策】

①[一](1)「論説文」では婉曲的な表現や、言い換え、指示語の指す内容などの理解について問われています。

[一](1)から特徴的な問題をPickUp！（答え：世界と自分を）

問二 次の口の中は本文中の傍線部①「世界と自分との間にズレを感じる理由」についてまとめたものである。[ア]に入る内容を本文中から二十字で探し、初めの六字を抜き出して書け。

人間は、言葉を用いて世界を名づけ、[ア]から。

☞本文で注目すべきところ

人間は言葉を用い、空を「空」と呼び、海を「海」と名づけた。いわば世界と自分をはっきりと分けて認識している。その意味で人間は、世界に閉じこめられてはいない。

☞考え方と傾向

空欄[ア]の直前の言葉「世界を名づけ」と関係が深い言葉に注目します。その後、言い換えを表す「いわば」や指示語の「その」が指す内容を考えて答えを探します。この「いわば」や「指示語」が指す内容をもとに答えを探す問題は2023年にも出題されています。（昨年：得点率66.9%）（今年：得点率84.1%）

②[二]「小説文」では「比喩」などの表現の理解について問われる問題が目立った。

[二]から特徴的な問題をPickUp！（答え：A：比喩、B：絞り出すように答える）

問三 「青色のボタン」を「一本の糸みたいなもの」と表現するのは、[A]という表現の技法です……
 ……「B」という描写にも、「一本の糸みたいなもの」と同じ表現の技法が用いられています……

☞本文で注目すべきところ

つながなければ、と強く思った。「……確かに、受け取りました」絞り出すように答えると、……

☞考え方と傾向

「比喩」は『あるものを別のもので表現する』という表現技法です。Aは「比喩」を書かせる問題、Bは本文から「比喩が使われている所」を探す問題です。この問題に限らず[二]は問二や、四でも比喩表現に関連する問題が出ています。（得点率A 63.4%、B 39.7%）

- ③[三]歴史的仮名遣い、漢文の返り点の同時出題、複数の文を読み比べる出題などが定着しています。また、記述式の問題は難度が高く、解答を作る練習が欠かせません。

[三]から特徴的な問題をPickUp！（答え：緊張し、警戒しなければならない）

問五(3) [エ]に入る内容を、十字以上、十五字以内でまとめて書け。

…常に「危亡に至る」ことのないように[エ]ということを意識して行動していたと魏徴は考えています。

☞本文で注目すべきところ

現代語訳：昔の聖人が国家の安らかなときにも、いつも危難のときを思って緊張していたのは、まさしくこれがためであります。ですから、安らかでありながら大いに警戒しなければなりません。

☞考え方と傾向

[エ]の前後だけを読んでも、正答は導きづらいです。ここでは主題である『国家が安楽なときの心構え』をつかむことが大切です。「魏徴」が、昔の聖人を例に出して述べようとした、国家を安泰に保つことの困難さを表現している語句を【B 現代語訳】中から探し、字数内にまとめます。（得点率22.2%）

- ④[四]資料をもとに作文をしますが、どの資料を取り上げ、どのように使用するかを自分で考えなければなりません。また、自分の知識や経験と結び付ける必要があります。

[四]から特徴的な条件をPickUp！

条件2 第一段落には、【資料】のAのグラフと、B～Eのうちいずれかのグラフ（どれをいくつ選んでもかまわない。）から分かることを挙げ、それについてあなたが考えたことを書くこと。

条件3 第二段落には、第一段落を踏まえ、読書量を増やす取り組みとしてあなたが考えた案を一つ挙げ、その案を挙げた理由を自分の知識や経験と結び付けて書くこと。

☞考え方と傾向

読書量を増やす取り組みという一般的なテーマですが、グラフと関連付けたり、自分の知識や経験と結び付けたりするためには、考えを言葉にする練習を積み重ねておく必要があります。学校生活や日常生活の言語活動を想定しながら、意見を自分の言葉で表現する力を養っていくことが必要です。

（得点率69.4%）

作文例： グラフAとグラフBを比較すると、本を読まない人は32・7%に対し、本が嫌いな人は12・8%であることから、本が好きなのに読めていない人がいることがわかる。これは中学生は勉強や部活動で忙しいことが原因ではないかと私は考えた。

私は読書量を増やす取り組みとして、学校の「朝読書」の時間を三十分延ばすことを提案する。時間を延ばすことで、読める量が増えるし、私の経験上、本はじっくり時間をかけて読むほうが本の世界に入り込みやすくなり、読書の楽しみが増すと考えるからだ。